

栃木県

畠出事業所からの「水域への水生生物に対する毒性重み付け排出量」が全国500位以内の市区町村と
主原因3物質（令和3年度）

県内 順位	市区町 村名	各市区町村での主原因3物質名と毒性重み付け届出排出量(10 ⁶ L/年)			
		全物質合計	1 位 物 質	2 位 物 質	3 位 物 質
1	さくら市	16,792,131	EPN 16,170,000	ポリ塩化ビフェニル類 (PCB) 456,000	チウラム (チラム) 55,200
2	真岡市	8,212,413	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエー テル (C:12-15及びその混合物) 8,178,700	ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニル エーテル 9,360	亜鉛の水溶性化合物 9,296
3	宇都宮市	303,610	亜鉛の水溶性化合物 136,587	マンガン及びその化合物 92,300	銅水溶性塩(錯塩を除く。) 67,232
4	小山市	228,138	マンガン及びその化合物 183,820	銅水溶性塩(錯塩を除く。) 18,880	亜鉛の水溶性化合物 13,200
5	河内郡上 三川町	179,551	マンガン及びその化合物 158,600	亜鉛の水溶性化合物 17,721	銅水溶性塩(錯塩を除く。) 2,656